



# 梅田だより

茅ヶ崎市立梅田小学校 TEL85-1125

めざす児童像「やさしく かしく たくましく」

令和6年10月31日

## 11月号

NO. 618

校長 大久保仁晶



## 〇〇の秋

ようやく秋らしくなってきました。東門のそばには大きな丸いドングリも見かけられます。一方、暑さに慣れてしまったせいか、この気温差の大きさに、体調管理が難しい季節です。栄養と休養をとって、健康に過ごしてください。

さて、秋はいろいろな秋があります。実りの秋、芸術の秋、スポーツの秋、食欲の秋、読書の秋など。学校に関わる秋の行事をいくつか紹介します。まず、秋休みの最終日16日(水)にPTA親子清掃活動がありました。本来は夏休み明けに備えて行う予定が、台風接近のため延期となっていました。今回は「流し」を中心に掃除をしてもらいました。習字などで黒くなっていたものがきれいになりました。また、鏡は特にピカピカで皆さんもその美しさに気づいたのではないのでしょうか。ありがとうございました。

同じ日の午後からは市立図書館で「ちがさき子ども読書フォーラム」が開かれました。市内4校が参加し、代表として梅田小学校が図書室の様子や図書委員会の活動を発表しました。中でも、今年度図書委員会が取り組んだ「おみくじ」は、開運本も書かれているアイデアある取組で、実際に会場に来た皆さんにも引いてもらい、とても楽しい雰囲気となりました。まさに「読書の秋」ですね。



いっせいのせ

そして、20日(日)には、推進協の皆さんによる「推進協子ども大会」が体育館で行われました。この子ども大会もコロナ禍以来久々になります。JALの皆さんからよく飛ぶ紙飛行機を教わり、作りました。少しでも遠くに、そして長く飛んでほしいという願いを乗せて飛ばしました。午後にはスポーツフェスティバルも開かれ、50m走や玉入れなどの「スポーツの秋」となりました。

26日(土)には地区防災訓練がありました。体育館では関東大震災や能登地震についての講話、校庭では起震車、煙体験、給水についての体験活動が行われました。学校でも避難訓練をいくつか行っていますが、能登地震の復旧に行かれた方の変りや起震車の揺れのすごさ、普段から意識しないといけないと感じました。

11月には「学校へ行こう週間」も計画されています。日常の子どもたちのいろいろな姿をご覧いただければと思います。行事の多い秋、いずれも楽しい思い出ができるよう願っています。



震度7相当の揺れでした



きれいに使ってください



プレゼン資料は図書委員会  
が製作